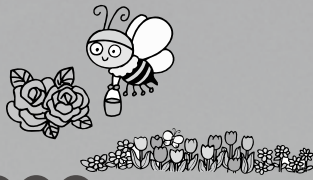




2015.4.30 VOL.122



茨城県PTA連絡協議会

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1丁目5番38号
電話：029-227-4779 FAX：029-231-3878
E-mail：webmaster@ibarakiken-pta.ne.jp
ホームページ：http://www.ibarakiken-pta.ne.jp
編集：同 広報委員会

もくじ

- 1 茨P連・茨P安定期総会
- 2 茨P連・茨P安定期総会・(一社)茨P安定時社員総会・
広報紙作り方研修会
- 3 女性ネットワーク委員会
- 4 関ブロ茨城大会
- 5 関ブロ茨城大会・教育問題委員会
- 6 書き損じはがき回収結果・県内ホッと情報
- 7 日P国内研修事業・
広報委員会からのお知らせ
- 8 茨P安・茨P基金・編集後記

茨P連 定期総会同日開催 茨P安

今年の会場は『笠間市立笠間公民館』です。



旧常陸太田市立瑞竜小学校の瑞桜(すいおう)は、ソメイヨシノの古木(樹齢80年)です。

瑞竜小学校は平成24年に閉校となりましたが、瑞桜は地域の皆さんに大切に守られています。

また、瑞桜はAKB48「桜の木になろう/昨日よりもっと好き」のプロモーションビデオに使われました。

春爛漫 桜が咲きほこる季節がやってきました
さあー! 思いを新たにPTAをスタートしましょう!!
すべては子どもたちのために



第48回関東ブロック PTA研究大会茨城大会に向けて

第48回関東ブロックPTA研究大会茨城大会が、平成28年10月にここ茨城の地にて開催される運びとなりました。茨城開催は13年ぶりであり、その間に培われた知識や経験を生かし、単位PTAから茨城県PTA



実行委員会の様子

連絡協議会に至るまで、全てのPTA活動に多くの実りがありますよう充実した大会を目指しています。また、一つの事業として終わらせることなく、未来の茨城県PTAの姿を見据えた「繋がり」のある内容にしなければならぬと考えています。

昨年9月に立ち上げた実行委員会では、総務庶務部・全体会部・分科会部・財務部・広報記録部の5つの専門部を設け、準備委員会から引き継いだ土台を基に相互の

連携を図り、細かな点に配慮しながら準備を進めているところです。

この実行委員会を中心として、茨城県PTA連絡協議会理事の皆さんの協力により、大会の企画運営が進められます。大会を成功させるためにもPTA会員の皆さんがこの大会の趣旨と意義を理解し、積極的に参加いただくことが大切であると考えています。

私たち大人の学びの場として茨城県PTAが一つになり、大会の成功と子どもたちの健やかな育ちのためにご理解ご協力くださいますよう、心よりお願い申し上げます。



(関ブロ茨城大会実行委員長 重藤 弘之)



大会概要

茨城大会趣旨

子どもは、家庭では「愛されていること」を、学校では「知識」を、地域からは「一人ではないこと」を学ぶと言われています。それらの学びは私たち大人が伝えたいものでもあり、様々な表現方法を使ったメッセージでもあります。

しかし、時には子どもたちの何気ない言葉や態度・行動から改めて気付くことはありませんか？

それは社会のルールとして、私たちが手本となるべきことであったり、相手を思いやる気持ちであったり。忘れかけていた大切なものを子どもたちから学ぶことは、決して恥ずべきことではありません。むしろそのことで、子どもたちとともに私たち大人も成長していくのです。

この茨城大会では、今子どもたちに伝えたい思いを、仲間たちと集い学びます。その学びが「メッセージ」として子どもたちに届き、豊かな心と健やかな育ちの一助となりますよう願っています。

大会スローガン

歴史と未来が息づく常陸国から

伝えたい願い 伝わる想い

～愛する子どもたちへ贈るメッセージ～

大会シンボルマーク



募集当時、城里町立常北中学校2年生の小島美咲さんの作品を基に、茨城県の象徴である筑波山、霞ヶ浦、梅花で茨城県を表現しました。

筑波山と霞ヶ浦は茨城県の豊かな自然を、梅花の赤梅と白梅は親子愛をあらわしています。

**大会日程および会場 平成28年10月21日（金）～22日（土）****(1) 分科会 10月21日（金）**

分科会	会 場	所在地	担当地区/委員会
第1 安全・安心	五浦観光ホテル	北 茨 城 市	県 北 地 区
第2 伝 統 文 化	東海文化センター	東 海 村	県 北 地 区
第3 人 権	茨城県立県民文化センター 小ホール	水 戸 市	中 央 地 区
第4 組 織 運 営	ひたちなか市文化会館 小ホール	ひたちなか市	中 央 地 区
第5 家庭教育力	ワークプラザ勝田	ひたちなか市	女性ネットワーク委員会
第6 地 域 連 携	大洗文化センター	大 洗 町	県 東 地 区
第7 情報モラル	ひたちなか市文化会館 大ホール	ひたちなか市	県 西 地 区
第8 国 際 理 解	茨城県立県民文化センター 大ホール	水 戸 市	県 南 地 区

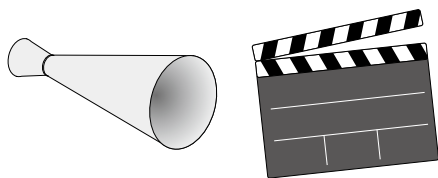
(2) 全体会 10月22日（土）

ひたちなか市総合運動公園総合体育館
 参加人数予定 約2,500人
 （県外1,000人・県内1,500人）

現在、第47回関東ブロックPTA研究大会横浜大会で紹介するPRビデオを作成中です。ご期待ください。



ひたちなか市総合運動公園

**教育問題委員会活動報告**

本年度は、メディア教育をテーマに活動してきました。

第1回の委員会では、つくば市P連の後藤秀一委員から石川県における実例を紹介していただき、スマートフォンやインターネットなどの急速な普及により、子どもたちに多くの問題が発生していることについて理解を深めました。また、今後どのようにPTAがかかわればよいかを話し合いました。

第2回では、メディア教育指導員の石井美知夫氏にご講演をいただき、茨城県内でのメディア教育指導員の活動を紹介していただきました。

第3回では、ゲーム機、スマートフォン、インターネットなどを利用した際の注意点や問題点について理解を深めるため、インターネットリテラシーテストを実施しました。テストは「安全ネットづくり促進協議会」に提出し、その結果は全国集計後に報告していただけることになっています。

現在、急速に変化する情報環境を受け入れ、保護者がマナーやルールを学習し、子どもに伝えていくことが大切であることを痛感しました。

今後、各家庭におけるルール作りなどの啓発活動を推進していくことが課題となります。



（教育問題委員会委員長 佐藤 秀行）

平成
26
年度

書き損じはがき回収結果発表!!

この度、ご協力をいただきました書き損じはがき回収活動の結果が出ました。合計枚数は、58,150枚でした。皆さまのご協力に感謝を申し上げます。今年も福祉団体への寄付、また、PTA活動の充実のため有意義に使わせていただきます。

【回収率100%達成】

大子町P連(214%)
河内町P連(205%)
桜川市P連(125%)
城里町P連(100%)

ご協力ありがとう
ございました



※回収率について

書き損じはがき回収枚数/市町村のPTA会員数×100(%)にて回収率を算出しております。

回収率が100%達成した市町村P連は、茨P連定期総会にて表彰されます。



4月14日、茨城県社会福祉協議会に皆さまより回収しました書き損じはがきの収益金50万円を寄付しました。茨城県社会福祉協議会は、茨城県視覚障害者協会、茨城県手をつなぐ育成会、茨城県肢体不自由児者父母の会連合会、交通遺児福祉基金の4団体に配布します。

県内ホットと情報 東京インドネシア共和国学校との交流 県南地区

開校より38年になる吉田小学校では、32年の長きに渡って「東京インドネシア共和国学校」との交流事業を続けてきました。

毎年、子どもたちはお互いの国の伝統的な歌や踊りを披露し、保護者たちは、家庭料理を互いに教えあい、会食をしながら交流を深めています。言語や文化は違えども、子どもも保護者もすぐに仲良くなり、外国についてより関心を持つことができる素晴らしい活動の一つです。

吉田小学校は、平成27年3月31日で統廃合され、4月より取手東小学校として新たに出発をしましたが、今後も「人とのふれあい」を大切にできる子どもたちになってもらいたいと願っています。

これからも私たちは、子どもたちと学校をサポートしていきます。

(取手市立吉田小学校PTA会長 小島 光孝)



家庭料理を囲んでの交流の様子

県内ホットと情報 春の訪れを告げる「祭頭祭」 県東地区

五穀豊穡と天下泰平を祈願する祭頭祭が、3月9日鹿島神宮と門前の通りで行われました。年間80回を数える鹿島神宮の行事の中でも祭頭祭は最も規模が大きく、勇壮な祭典です。起源は奈良時代とも平安時代ともいわれていますが、文献では800年以上前から続いています。本年は当番地区の爪木郷を中心にして「祭頭囃保存会」の公開演技として行われました。豊郷小学校からも、4年生から6年生の希望児童6人とPTA有志が夜や休日に練習を重ね、祭りに望みました。

当日は、あいにくの雨模様でしたが、色鮮やかな伝統衣装に身を包んだ囃人が「イエートーホーヨートーヤ!」と声を上げ、檜棒を組み鳴らしながら練り歩くと、沿道の観客からも大きな歓声が上がりました。子どもたちと共に歴史と伝統ある祭頭祭にPTAとして参加でき大変有意義な一日となりました。



イエートーホーヨートーヤ!

(鹿嶋市立豊郷小学校PTA会長 石津 正秋)



日本PTA国内研修事業



「沖縄・渡嘉敷島の方々との交流と研修事業に参加して」

渡嘉敷島に着いたとき、僕には新しい友達がたくさんできていました。僕たちは、渡嘉敷島の人々の太鼓に迎えられ、新しい生活が始まりました。

海洋研修では、美しい海でみんなと初めてのスノーケリングを楽しみました。野外炊飯では、一人ひとりが役割を見つけて活動し全員で協力することを学びました。そしてワークショップでは、「島んちゅう」との出会いがあり、島の人々との交流を深めることができました。多くの体験をし、様々な人たちと友情を深めることができ、楽しく充実した4日間の研修となりました。

この研修に参加して、最初は不安でしたがたくさんの人々と交流をしていくにつれ「みんなとずっと行動したい。みんなが好きだ。」という気持ちが強くなりました。

行きの空港と帰りの空港では、同じ場所だったけれども、帰りの空港では僕の気持ちが大きく変わっていました。僕はこの研修で人とのふれあいを大切にしようと思えました。これは、自分が成長した証だと思えます。

(守谷市立けやき台中学校 吉岡 航将^{こうしょう})



海洋研修の様子

「沖縄・渡嘉敷島の方々や全国の中学生との交流を通して」

「帰るときには、全員が成長しているといいね。」これは、入村式・開校式のオリエンテーションでの主催者の方からの言葉です。

全国各地の同い年の人たちとの出会い、沖縄県渡嘉敷島で4日間一緒に過ごし、ともに学びました。参加している全員が不安でいっぱいだったこの研修でしたが、あっという間に不安も吹き飛び、打ちとけることができました。

私の心に残った研修は、島の人々との交流やサーターアンダギーという沖縄伝統のお菓子作り、そして、沖縄の文化や歴史に触れることができたことでした。

また、参加したみんなと一緒に行動することで、周りの人たちへの気遣い、思いやり、そして、我慢することを学び、自分自身新しい視野が広がったことを実感しました。

最後に、自分を大きく成長させる貴重な研修の機会を与えていただいたことにとっても感謝しています。大人になるための第一歩を踏み出すことができました。

(土浦市立土浦第六中学校 小松 未歩)



交流会の様子

広報委員会からのお知らせ

日頃より「われら茨P連」の発行にあたり、ご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

この度、経費削減などの理由から、来年度より「われら茨P連」の発行回数を年3回から年2回とさせていただきますことになりました。本件については、茨P連役員会と理事会において了承をいただいております。

会員の皆様におかれましては、何卒ご理解をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

これからも、皆様にご愛読をいただけるよう「われら茨P連」の内容をさらに充実させ、役立つ情報が詰まった紙面となるよう努めていきます。



(広報委員長 小又 和洋)



茨城県PTA安全互助会は事業終了しました

平成3年12月18日に発足した茨城県PTA安全互助会は、平成27年3月31日をもって見舞金給付等の事業を終了いたしました。

発足以来、PTA会員一人ひとりが安心してPTA活動ができるよう活動を行ってまいりました。長年のご協力に感謝申し上げますと共に、一般社団法人茨城県PTA安全互助会に対するご協力もお願い申し上げます。

一般社団法人茨城県PTA安全互助会の事業始まる

茨城県PTA安全互助会で行っていた事業をより充実強化し、平成27年4月1日から一般社団法人茨城県PTA安全互助会が共済事業を開始いたしました。共済金（個人名義の口座への振り込み）及び見舞金給付（PTA名義の口座への振り込み）並びに安全普及啓発活動を柱として活動してまいります。会費（1家庭あたり120円）は従来の負担金と同額です。

● 共済金の保障の対象となる活動

活動区分	活動内容
PTA主催（共催）事業 ＜※PTAが企画・立案し、主催又は共催する行事（主に茨城県内で実施されるもの）でPTA総会、運営委員会などPTA会則（名称の如何を問いません。）に基づく手続を経て決定されたもの＞	各単位PTAの会長が招集又は委嘱した活動 ア 総会・役員会・運営委員会・専門委員会等の諸会合及びそれらの運営に関する業務への参加 イ 学習活動・スポーツレクリエーション活動・校外活動等の参加（授業参観・バレーボール大会及びその練習・キャンプ活動・交通安全指導・プール開放など、いずれも予め計画され、PTA会長の承認を得ていることが必要。総合的な学習の時間を含む。） ウ 単位PTAを代表して参加する各種会合（他団体・機関主催の場合） エ 単位PTA会長が、特に委嘱した活動への参加（他団体・機関との連絡・交渉業務など） ※前記（ア～エ）に参加するための所定の場所と自宅との通常の経路の往復中も含む。

※市町村P連、地区P連、茨P連、茨P安の活動においても上記に準じます（詳細は共済規程によります。）

※一般社団法人茨城県PTA安全互助会になっても、事務所の所在地や電話番号及びEメールアドレス等の変更はありません。

茨城県PTA基金管理機構

● 厚生援助金給付規程の一部改正

- ・第4条第1号を改正削除したことにより、PTA活動中の死亡時における厚生援助金（PTA活動中に限る）200万円の給付は、平成27年3月31日までの事案をもって終了します。
- ・改正理由—平成27年4月1日に業務を開始した一般社団法人茨城県PTA安全互助会から上記の場合200万円が給付されるため。

● 事業終了のお知らせ

- ・本機構の事業は基金がなくなり次第、終了となります。平成27年3月末の残金が約3,500万円ですので、下記の予定で終了します。
- ① 厚生援助金（給付規程第4条第2号に係るもの。）—平成27年度末＜平成28年3月31日（木）＞までを給付の対象とする。
- ② 教育振興助成金—平成27年度第1回（平成27年6月30日（火）締め切り）の申請で終了とします。助成対象事業は、平成28年5月31日（火）実施分までとなります。

※組織としては、平成28年度末まで事務処理を行います。

編集後記

ひょんなところでいただいた、茨P連広報委員。活字を読むのと書くのが好きな私にとって、日曜日の屋下がりであったこの委員会は、とても勉強になる好きな時間でした。まめな編集長の広報委員長を始め、委員長不在の時は裏女性編集長になる敏腕委員など、各々の委員さんが持ち味を生かしこの広報紙を編集しています。私とはとうとう・・・最後にいただいたこの編集後記を記しています。来年度より年2回発行となります。どうぞお読み逃しなく。県内の熱いPTA情報を得ていただけると幸いです。

（広報委員 萩原 佐江子）